

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	臨床研修修了者アンケート調査費			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課臨床研修推進室			室長：田村 卓也		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成15年6月12日医政発第0612004号「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」第5					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医師臨床研修を修了する医師からの、各自が経験した臨床研修のプログラム、進路希望、希望勤務地等の情報をアンケート調査により収集し、へき地や離島、産科・小児科等の診療科への医師の誘導策を検討する材料とするとともに、臨床研修制度の評価及び継続的な見直しの検討の材料とするもの									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	毎年3月末までに臨床研修を修了する全ての医師にアンケート調査を実施									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	2	2	2	2	2	0		
	執行額	2	2	2						
	執行率 (%)		100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	アンケート回収率について前年度以上とする。	アンケート回収率	成果実績	%	76	78.4	84.8	-	-	
			目標値	%	67.4	76	78.4	-	84.8	
			達成度	%	112.8	103.2	108.2	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	調査客体数	活動実績	人	7,545	7,534	7,326	-			
		当初見込み	人	7,506	7,545	7,534	7,326			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位あたりのコスト=X/Y X:執行額 Y:アンケート回収枚数	単位当たりコスト	円	299	323	314	-			
		計算式	X/Y		1,717,170円/5,735件	1,907,064円/5,905件	1,951,560円/6,209件	-		
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	庁費	2								
	計	2	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること								
	施策	医療従事者の資質の向上を図ること。								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度	
		研修医の満足度調査(満足度5段階評価のうち4段階以上の回答者の割合)	実績値	%	70	-	集計中	-	-	
			目標値	%	78	-	70	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	アンケート回収率を向上させ医療従事者の満足度を精緻に調査していくことは、臨床研修の充実につながり、結果として資質の高い医師を養成することができる。									
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	医師臨床研修を修了する医師から収集したアンケートにより、臨床研修制度の評価及び見直しの検討材料等とするためのものであり、臨床研修の質の向上に資する重要な事業であり、国費を投入すべき。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	医師臨床研修は医師法の改正における付帯決議において、国が実施すべき事業とされており、医師臨床研修制度の見直しについても引き続き国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	医師臨床研修を修了する医師から収集したアンケートにより、臨床研修制度の評価及び見直しの検討材料等とするためのものであり、臨床研修の質の向上に資する優性度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	少額随意契約であり、支出先については妥当である。				
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。				有					
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	経費削減に努めており、受益者との負担関係は妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	合理的かつ必要な経費に限られているため、単位あたりのコスト水準は妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	必要最低限の経費のみの予算計上としている				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	複数社より見積を取り、より低価格で実施できるよう努めている					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	達成率について、高い水準で推移しており、見合ったものとなっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	アンケートの回収率の向上を目標とし、対前年度比で向上している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	アンケート調査の結果は、制度見直しにかかる検討材料として活用している。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-	-				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名							
点検・改善結果	点検結果	本調査は、調査客対数がほぼ横ばいで推移し、また、アンケート回収率も高い水準で維持していることから、今後も医師臨床研修を修了する医師に対して、各自が実際に経験した臨床研修プログラム、希望する進路、勤務地、条件や出身地、出身大学等の情報を求め、へき地や離島、産科・小児科等への医師の誘導策等を検討するために、継続的な統計が必要である。								
	改善の方向性	より少ない予算で同等以上の成果を引き出すため、毎年複数社から見積を取り、より低価格で実施するようにしている。								

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度	847	平成24年度	735		
平成25年度	51	平成26年度	56	平成27年度	59		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
2百万円

〔医師臨床研修を修了する医師からアンケート調査を行い、医師の誘導策を検討する材料とするとともに、臨床研修制度の評価及び継続的な見直しの検討の材料とするもの〕



【随意契約(少額)】

A. (株)イマージュ等(2者)
2百万円

〔臨床研修修了者アンケート調査集計等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

